

自主防災組織

自主防災組織は、大規模な災害が起きたときに、地域住民がお互いに助け合い、被害を軽減するために結成される組織です。「自分たちの地域は自分たちで守ろう」とする住民の自主的な活動でいざというときは、初期消火・応急手当・避難誘導などを行います。

平常時は、防災訓練や啓発活動を行っています。例えば、自主防災訓練や地域の防災啓発イベント、地域での防災マップ作成等を行っており、必要に応じて市と連携し、防災啓発活動にも力を入れて取り組んでいます。

伊丹市の自主防災組織結成率は97%を達成しています！！

(平成27年4月1日現在)



出前講座

この講座は、「伊丹市まちづくり基本条例」に基づき、市民の方に学習の機会を提供することが目的となっています。ご希望の時間や場所に市職員が出向き、選ばれたテーマについて、わかりやすくお話しするものです。危機管理室でも、防災・減災をテーマとして随時申し込みを受け付けております。これまで、自治会や福祉施設など、地域のみなさんが防災について考える良い機会として受講していただいています。

(申込：まちづくり推進課)
☎072-780-3533



平成27年度 伊丹市総合防災訓練
**みんなで一斉に
防災行動を!**
平成28年
1月24日(日)
実施!!
20万人市民いたみまるごと防災訓練

水防工法訓練

洪水や集中豪雨に備え「水防工法訓練」を毎年、行っています。この訓練は、河川敷の堤防が決壊したときや道路冠水などを想定し、消防職員や消防団員等が「せき板工法」や「釜段工法」、「シート張工法」など被害想定にあった工法を行うものです。

また、ゲリラ豪雨等、内水対策の工法も行います。



防災啓発コーナー

平時より防災資機材や備蓄品等の展示、資料の閲覧を行っております。また、市民や防災士等が防災学習や研修等を実施するための啓発活動のスペースとしても使用します。



総合防災訓練 <平成28年1月24日実施>

南海トラフ巨大地震の発生に備えて、市内全ての家庭、自治会、自主防災会、学校、事業所など、全市民が一斉に防災行動を展開する”20万人市民 いたみまるごと防災訓練”を実施しました。この訓練は、屋外拡声器、学校等緊急放送設備、エフエムいたみ、いたみメール、エリアメール、緊急速報メールによって市内全域に地震発生の伝達を行い、20万人の全市民がそれぞれの立場で参加することによって、防災意識を高め、市のさらなる防災力強化を目指すことを目的として行いました。

今後とも、訓練内容の検証を行ない、より効果的で、実践的な訓練を実施してまいります。



伊丹市マスコット
いたみまる



知る

災害への意識の向上